

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会 平成27年2月25日発行

No.113



(狼煙揚げ 撮影:高木浩二)

元日から大雪という2015年の幕開けでした。

1月4日は穏やかに晴れ、絶好の狼煙日和となりました。

北は塩尻市:奈良井城跡、南は南木曾町:馬籠峠頂上まで木曾谷26ヶ所、345名の参加のもと天に向かって狼煙が揚がりました。

毎年妻籠城址に参加いただいている大垣の高木浩二さんに最新機器「マルチコプター」で空から撮影していただきました。

左手は伊勢山、その下を青く木曾川が流れています。遡っていくと、野尻、須原、上松、木曾福島、宮ノ越、藪原、奈良井と続きます。

第37回全国町並みゼミ 鹿島・嬉野大会

地域おこし協力隊 伊藤 恵理

今回の全国ゼミは、佐賀県の鹿島市と嬉野市合同で行われました。私たち協力隊も同行させていただくという貴重な機会をいただきました。町並み保存に尽力されている方々がお話しする、わが町の取り組み事例はとても刺激を受けました。

その中で志田焼の里博物館の方の事例を挙げさせていただきます。志田焼の里博物館では平成18年に指定管理者による運営という方針が打ち出され、西山、北志田、南志田の自治会役員によって運営を目的とした、志田焼の里振興会が結成されました。

今回の町並みゼミの分科会と同日に、年2回春と秋に開催されるお祭りが行われていました。3地区が持ち回りで行うお祭りは、博物館の活用だけではなく、地域のコミュニティにかかる役割がとても大きいとのこと。自治会それぞれが協力をし合って運営をしています。お祭りは今年で8年目を迎えており、初めて回覧で「地元のお祭り」というキーワードがでてきて、とてもうれしいと話していました。地元の人に認められたお祭りとして今後も地域に根付いたものとして続けていくことを目標としているとのことでした。8年目にしてやっと、という感慨深さはお話を聞いていて伝わってきました。回覧に載ったその一言は大切な大きな大きな変化だと感じました。

振り返って南木曾町の妻籠宿のことを思います。先進事例でありながら、後続の伝建地区と同様の問題を抱えています。妻籠宿の答えを見せることで伝建地区としての方向性の一つになるのだと思いました。

最後に、妻籠を愛する会の皆様今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました！



地域おこし協力隊 松林 沙紀

2014年11月7日～9日に、佐賀県鹿島市・嬉野市で開催された全国町並みゼミに参加させて頂きました。全国各地から約650人が集結と想像以上に盛大なもので、参加者同士が熱い議論を交わし、交流を深める良い機会になっていたと感じます。

2日目に私は、「空き家の再生と活用を考える」分科会に参加しました。福岡県福津市・津屋崎ランチの山口さんからは、まちの活性と存続を目的として空き家を再生・活用したり、移住者視点で移住交流のプロモーションを行ったりといった事例が報告されました。特に“住んでいた人の思いを引き継ぐスタンスで”、移住者が不動産屋を営んでいるという『暮らしの間屋』の事例は興味深かったです。福岡県八女市で空き家だった町屋を活用し『うなぎの寝床』というアンテナショップを運営されている白水さんは、普段都会に流れてしまって地元のひとが気づいていない魅力的な地元の品を、地元のひとが買うことが出来るような場所をつくりたいと取り組み、まちに元気をもたらしています。

今回若者によって古民家が活用され、ビジネスとして成立している事例に触れ、刺激を受けました。妻籠宿には日本で他地域に先駆けて町並み保存運動に取り組み、日本の伝統的な町並みを守ってきた誇るべき歴史があります。それは私のような外部の人間から見ても、素晴らしく希少なものだと思います。その歴史を存続させていくためにも、今後浮上してくるであろう空き家問題への対策を含め、妻籠の未来を考えていくことが必要になってくるのかなと、ふと考えさせられる町並みゼミでした。



上嵯峨屋屋根返し作業

2014.12.10

南木曾町教育委員会 鈴木 義 幸

上嵯峨屋の石置き板葺き屋根の屋根返しについては、定期的に妻籠地区の住民の方にご協力いただいておりますが、街道からみて裏側の片屋根の下地が腐食して危険な状態になったため、平成26年度の伝建地区保存修理事業で修理をしました。板屋根の葺き替えについては今回も妻籠地区の方にご協力いただくことになり、私も初めて参加させていただきました。

屋根葺きに必要の枕木については、12月1日に一石栴において、チェーンソーを使って栗材を分割して作りました。当日は雨が降り大変でしたが、シートを雨よけにして作業し、何とか作ることができました。



板屋根葺きは、12月10日に行いました。使う板は、これも以前地区の方がサワラ材をへいでつくったものを使用します。ベテランの方に教えてもらいながら作業は進みました。

板の並べ方も、ただ並べればよいというものではなく、雨が漏らないようにするなどのやり方があります。重い石を下から屋根に上げるなど大変な作業でしたが、10時頃から始めて夕方までには終了しました。今回は、新規に葺いていく作業のため、いつもより時間がかかったようです。みなさんお疲れ様でした。私も貴重な体験ができました。ありがとうございました。文化財を活用してのこうした取り組みは、文化庁からも高く評価していただいています。引き続きご協力をお願いします。



第47回文化文政風俗絵巻之行列 2014.11.23 (日)

J A南木曾支所 林 綾美

11月の文化文政風俗絵巻之行列に初めて参加させていただきました。参加するきっかけはお客様から誘われたことでした。社会人1年目の時に初めて見たときから参加したいと思っていましたので、すぐに返事をしました。

当日、会社の先輩二人と参加させていただき、三人で女旅人として行列に並ぶことになりました。南木曾会館で旅姿に着付けていただき、同じ行列に参加する人にわら草履の履き方を教えていただきました。出発場所の渡島のグラウンドには一緒に行列に参加する人、カメラマンの方、地元の方が大勢集まっていました。先輩と着物姿を写真に撮ろうとすると、カメラマンの方にすぐに囲まれて驚きました。

行列が始まり、普段通ることがない中山道を慣れないわら草履で歩くことに苦戦していました。行列の一人として参加すると、観光客とは違った目線で見ることができ、風俗行列の魅力を感じることができました。

恋野に着くころには、わら草履にも慣れていき、花嫁行列と合流して宿場の中を歩くときには、歩き方も観光している人、撮影している人に恥ずかしくないように歩くことができました。

お昼休みに「さいとろさし」を見ていると、外国の観光客に声をかけられ、一緒に写真を撮りました。行列に参加していたからこそできた交流だと思いました。

最終の大妻籠までわら草履で歩くと、足が痛くなってしまいましたが、最後までやり終えて達成感がありました。

着物を着付けてくださった裏方の人、写真を撮っていただいた人、いろんな人と出会い、ふれあうことができました。最後に餅拾いがありましたが、私は一個も拾えませんでした。ですが、たくさんのお土産と達成感を持ち帰ることができました。

次回も参加することができれば参加したいです。できなくても、観光客として私は妻籠宿のどこかで風俗行列を見ていると思います。



〈宿場の中を行く〉



〈外での昼は最高！〉

【47回行列参加者】

・歩いた人:154名、裏方:70名、総勢224名
汗ばむような陽射しの中、充実した楽しい一日となりました。

妻籠愛友会 磯村 琢 弥

下町に住み早2年。今年は家族で行列参加です。とはいっても僕は愛友会の花嫁行列で参加するので、一緒には歩けませんでした。4才の息子が最後まで歩けるのか心配でしたが、やはり最後は抱っこしてもらったそうです。お疲れさま。

さて僕の方の話をさせてもらいます。まずは花嫁行列役の人が集まる公民館へと向かいます。長持の担ぎ手、仲人役等が集まりだし、しばらくして花嫁が到着し雑談等をしていて、ふと気が付くと窓の外はカメラのレンズだらけになっています。移動の時間が近づくと長持ちを外に運び出し、そこで記念撮影をしますが、見知らぬ方々があれこれ花嫁にポーズを注文してきます。やんわりとかわしながら集合写真をパチリ。カメラマンの話をしていると仲人役を婿と勘違いしている方々が多いようです。

それから移動が始まり、長持歌の予行などをしてつ恋野へ向かいます。ちなみに長持は空なんです。歩いているうちに思います。中身が入っていたらこれは大変だぞと。そして恋野でいよいよ行列と合流し、寺下に向かって進み始めました。鯉岩側に陣取ったカメラマンが花嫁の背中側だと気付いて一斉に横断、なかには長持の下をくぐる人まで。何度も止まりながら下町に入りました。視線を上げると、妻籠宿の軒並みと花嫁、馬の光景はとても絵になることに気がきます。カメラを持って走り回る人たちの気持ちもなんとなく理解しました。



〈下町を行く花嫁道中と陣屋太鼓〉



〈寺下を歩く〉



〈駕籠かきも疲れます・・・〉



〈大妻籠に向かう子どもたち〉



全国町並み保存連盟が発足して今年は40年となりました。それを記念して、奈良今井町・名古屋有松の会長と、連盟の理事長に宿役人として行列に参加していただきました。写真は恋野で花嫁と一休みの有松:服部豊会長です。

ふるさとだより

中津川市 岡崎 由子

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年末には情報誌「まち・むら」をお送りいただき誠にありがとうございました。又、毎回広報「妻籠宿」は楽しみに読ませていただいております。表紙の写真の素晴らしさ、そして懐かしい風景写真と共にそれぞれの皆様の立場での文章から本当に妻籠を愛し、観光地化することなくあるべき姿を守りながら次の世代へ継ぐべく努力されている気持ちが伝わってまいります。

妻籠地区大運動会の様子では、半世紀以上も昔のことですが、中学生女子全員が白のブラウス、黒のスカートで並び「信濃の国」のダンスを緊張の中にも胸躍らせて踊ったこと。又、昭和の終わり頃だったでしょうか。私が家に帰ると一人暮らしの母が「今日はかわいい子どもの絵で運動会の招待状をもらったので、どうしても行かにゃならんとこよ」とうれしそうに出かけていったものです。一度に思い出が吹出してきた涙がでます。

毎年秋の文化文政風俗行列では風俗絵巻之回覧板(瓦版)は楽しみの一つで、まとめて冊子として残しています。衣装部の方々は前々からの準備、後かたづけ等、私たちは何気なく見ている行列も妻籠のたくさんの方々の一生懸命な気持ちの上に成り立っていることが良くわかります。私のしていることなど氷山の一角にすぎませんが、この度は「あしたの日本を創る会」の方から突然の取材を受け、戸惑いましたが、情報誌に掲載され恐縮しております。

あの日、常連の観光客の方々と別れた後で大浦さんご夫婦と家の「出居」に集まってゆっくりしていると、東京から来たという若い親さんたち二組が「何か食べるものはここにはないですか?」と聞いてきます。7人程の子どもはお腹を空かしている様子なので、味ご飯のおにぎりや野菜の漬物、お茶を差出すと皆んなで分け合って食べ、やがて子どもたちは土手に登って黄色になったからたちの実を転がしたり、白いヌスキの穂をとってとても楽しそうに遊び始めました。「上手に子どもさんを育てているね!」と若いお母さんに言えば、うれしげに笑っています。一時ほど遊んで、みんな初めてであろう我が家の昔のトイレで用をすませ、礼儀正しく手を振って分れていきました。何気ないできごとでしたが、小さな平和はこんな

ところにもあるんだな一と、私の心に強く残るひとときでした。

さて、私の家も(と申しまして、名義は私の従兄弟にあたる方で金沢市に在住で何度かお会いして話(はしてはいますが)長年主人と二人で守ってきましたが、共に老齢となりその維持も困難となってきております。築150年以上は経っており、家の中の土間では馬が飼われたり、私が子どもの頃まで屋根には石がのっていましたね。家そのものも老朽化しておりますので不安を感じておりますが、三原則を守りながら木曾谷の中の宿場景観の保存の意味からも、素朴なこのままの風景を残すことができればうれしいと切に思っています。そして、少しでも皆様のお役にたつことができれば幸せと考えております。乱文乱筆にて誠に失礼いたしました。

今年は特に厳寒の時節から皆様のご健康と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

(岡崎様からの手紙をご本人の承諾を得て原文のまま掲載させていただきました)



「まち・むら」128号より

「まつや」の看板を取り付けました!

平成25年度に愛する会が取得した旧本多家を「まつや」と命名し、理事長が作成した看板を取り付けました。



宿 場 暦

- 11月4日：広報部会、衣装部着付練習(7名)、
博物館協議会(理事長)
- 5日：風景の「語り部」育成研修会
(案内人の会・波田町)
- 6日：妻籠宿案内人の会学習会、
リニア説明会(南木曾会館)、
全国町並み保存連盟理事会(鹿島・常務)
- 7日：第37回全国町並みゼミ鹿島・
嬉野大会(～9日)
- 10日：衣装部会(行列衣装準備)
- 11日：衣装部着付練習(7名)
- 12日：氷雪の灯祭り実行委員会(木曾町)
- 14日：衣装部行列衣装運び出し、行列幟旗立て
- 17日：行列拡大部長会議
- 18日：行列木戸組み立て、
公民館妻籠分館建設委員会
- 19日：元気づくり支援金事例発表会(合庁)
- 20日：統制委員会、広報「妻籠宿」112号発行
- 21日：関西電力中山道清掃作業(環境保全委員会)
- 23日：第47回文化文政風俗絵巻之行列
- 25日：木曾エコパーク会議、観協役員会
- 12月1日：上嵯峨屋枕木づくり(7名参加)
- 2日：長野放送撮影
- 3日：行列反省会
- 8日：衣装部会(衣装整理)
- 9日：案内人の会世話人会
- 10日：上嵯峨屋屋根返し(16名参加)
- 12日：リニア新幹線事業説明会
- 15日：名古屋テレビ撮影
- 19日：観協役員会
- 22日：統制委員会
- 24日：木曾エコパーク会議
- 26日：理事会
- 28日：案内所仕事納
- 1月 4日：新春放談会(19名)、
狼煙揚げ(26か所・345名)
- 5日：夜回り開始(～3月2日)
- 13日：繭玉作り(観協女性部)
- 14日：広報部会
- 16日：妻籠宿連絡調整会議
- 20日：統制委員会
- 21日：案内人の会新年会
- 26日：文化財防火デー(40名参加)
- 27日：木曾エコパーク会議

統制委員会審議事項

- 11月20日
- ・携帯電話基地局新築(KDDI:上在郷) 1件
 - ・倉庫屋根修繕(橋場) 1件
 - ・舗装修繕(建設事務所:尾又) 1件
 - ・側溝修繕他(建設事務所:尾又、押手) 2件
 - ・支障木伐採・枝払い工事(建設事務所:橋場、大妻籠) 1件
 - ・駐車場新設・石積み補修工事(下町) 1件
 - ・配電線設備の保安伐採(中電) 5件
 - ・町営第三駐車場農地復旧補修工事 1件
 - ・観光地トイレ整備推進事業 1件

【町営駐車場・本陣・大妻籠のトイレが
洋式・ウォシュレットになりました。】



- 12月22日
- ・OPENの印(冬期のみ:妻籠観光協会) 1件
 - ・道路防災工事(落石防護柵:洞門付近) 1件
 - ・舗装修繕(町:宿場内) 1件
 - ・配電線設備の保安伐採(中電) 2件
- 1月20日
- ・群状択伐(関電:大妻籠) 1件
 - ・架空通信ケーブル移転(関電:恋野) 1件
 - ・敷地保護工事(関電:災害復旧) 1件
 - ・護岸修繕工事(建設事務所:大妻籠・男埴川) 1件
 - ・妻籠宿保存地区建造物小規模修理事業(恋野) 1件
 - ・外壁塗装工事(上町:光徳寺) 1件
 - ・中山道災害復旧工事(教委:馬籠峠) 1件
 - ・脇本陣奥谷裏庭竹塀及び木戸修繕(教委) 1件
 - ・災害復旧工事(町:橋場・上在郷・下り谷) 5件

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2
TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

2015年1月4日 木曾谷新春狼煙揚げ 塩尻市奈良井城跡～馬籠峠頂上 26箇所

木曾町 宮戸 朋幸

新春1月4日、好天に恵まれ木曾谷新春一斉狼煙あげを例年どおり福島地区内7箇所で開催することができました。

準備は昨年12月21日、例年になく雪が積もっているなか、実行委員の皆さんと共に軽トラック7台分の燃焼物を地権者様のご好意により福島伊谷地区の山林において採取しました。

当日は9時に役場木曾福島支所に集合し、会場ごとに道具、燃焼物を積み込み留意事項を確認してからそれぞれの担当場所へ行き、最北木曾駒ミクロ10時30分着火を待ちました。晴れ渡っているものの風も無い穏やかな天候であったので次々とあがってくる狼煙が確認できました。

参加者からは、「つながりました」新年から縁起良く「木曾谷がつながりましたね」という喜びの声がきかれました。

今年一年は、木曾谷が一つにつながり、一丸となって良い一年にしていきたいと感じました。



〈大桑村：弓矢〉



〈塩尻市：奈良井城跡〉



〈木曾町：関山公園〉



〈上松町：天狗山公園〉



〈南木曾町：十二兼集会所広場〉

十二兼では「さんちょ焼き（左義長）」を兼ねて行いました。点火は干支の未年生まれ2名。10時30分に合わせ点火。風もなく狼煙らしい煙が勢いよく上がりました。近隣の地区の煙は確認できませんでしたが、どこもうまく行っているとの情報が入りました。

（済藤克仁）



← 木祖村…柳沢尾根公園